



2026年8月17日

静岡聖光学院中学校・高等学校

世界4カ国・総勢84名が参加
世界の中高生が熱海に集結 観光の未来を英語で共創
～静岡聖光学院「国際未来共創サミット2026」を熱海で初開催～



静岡聖光学院中学校・高等学校（所在地：静岡県静岡市、校長：工藤誠一）では、世界各国の中高生が英語を共通言語として地域や社会の課題について議論し、未来への提案を行う「国際未来共創サミット2026」を、2026年8月31日から4日間にわたり、熱海市の起雲閣をメイン会場として開催します。

本サミットは、これまで校内を中心に実施してきた国際教育プログラムを発展させ、初めて学校を飛び出し、地域そのものを学びのフィールドとする新たな試みです。今年のテーマは「観光」。世界4カ国から集まる総勢84名の中高生が、熱海市内でのフィールドワークや地域関係者へのヒアリングを通して、熱海の魅力や課題を多角的に捉えます。国籍や文化的背景の異なるメンバーでチームを組み、「持続可能な観光」「地域資源の活用」「世界に選ばれる観光地とは何か」といったテーマについて議論を重ね、最終日には熱海の未来につながるアイデアを英語で発表します。

ぜひご取材くださいますよう、ご案内申し上げます。

【開催概要】

名 称： 静岡未来共創サミット

Shizuoka Global Development Conference (SGDC)

日 程： 2026年8月31日（月）～9月3日（木）

場 所： 静岡県熱海市（メイン会場：起雲閣）

使用言語： 英語

参加生徒： 約84名（中学3年生～高校3年生（Year 9～12））

＜海外＞ブルネイ、タイ、イタリア、ニュージーランド ＜国内＞ 静岡聖光学院

ウェブサイト： <https://seiko-summit.netlify.app/>

主 催： 静岡聖光学院中学校・高等学校

後援・協力： 熱海市、一般財団法人熱海観光局、熱海伊豆西湘聖光会、株式会社JTB



＜サミットの見どころ＞

- ✓ 世界各国の高校生が英語で議論
- ✓ 熱海市内でのフィールドワーク
- ✓ 地域住民・観光関係者との交流
- ✓ 起雲閣を舞台とした国際交流
- ✓ 高校生による「熱海観光の未来」への提言

【プログラム】

	内 容	場 所
【1日目】8月31日（月）	◆ 開会式 来賓： 熱海市副市長（吉徳光男） 本校校長 工藤誠一 International School Brunei校長（Dominic Morley）、 International School Brunei教員・オリンピック （Muhammad Isa Ahmad）など ◆ 講演会 2020東京オリンピック ブルネイ代表選手(水泳・平泳ぎ) （Muhammad Isa Ahmad） ◆ グループワーク	起雲閣(熱海市)
【2日目】9月1日（火）	◆フィールドワーク グループごとにテーマに沿った場所に行って調査。タクシー移動。	熱海市内各地
【3日目】9月2日（水）	◆プレゼンテーション作成作業	起雲閣(熱海市)
【4日目】9月3日（木）	◆最終プレゼン発表・閉会式	起雲閣(熱海市)

【取材に際して】

関係各所との調整が必要となりますため、事前に下記のお問い合わせ先にご連絡をいただきますようお願いいたします。ご要望に応じて、関係者、参加生徒、教職員などのインタビューを設定することなども可能です。

静岡聖光学院中学校・高等学校について

1968年創立。キリスト教の教育理念に基づく、中高6ヵ年一貫の男子カトリック・ミッションスクール。論理的思考力を育む授業や生徒一人ひとりに応じた学習支援、プログラミングをはじめとしたSTEAM教育を授業内外で展開するとともに生徒の興味関心に基づく探究活動を実施しており、国際サミットや模擬国連会議への参加など国際交流もさかん。高校ラグビー部は全国大会出場経験あり。希望制の生徒寮も備えており、静岡県内のみならず首都圏出身の生徒も多数在籍している。

取材 をご希望の方・お問い合わせ先

静岡聖光学院中学校・高等学校

担当：入試広報部 平本

TEL：054-285-9136

Email：kohobu@siz-seiko.ac.jp

URL：https://www.s-seiko.ed.jp/